

### 【曲の解説】

2015年10月、仙台城南高校吹奏楽部から委嘱のお話を頂き作曲。同年、初演されました。

フェローチェとは野性的に激しくという意味があり、速いテンポの箇所では、名の通り、荒々しい描写を表現しました。ドラマ性に富んだ作品ではありませんが、フレーズの繰り返しや強弱の変化により、次第にテンションが高くなっていく様子を感じて頂けるのではないかと思います。

冒頭は、聴き手に拍感を思わせないような空間を意識した演奏を心がけてみるとよいでしょう。音価の長さは明確に表現しましょう。

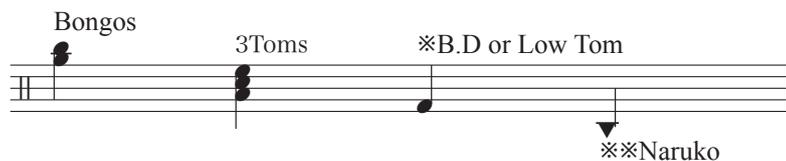
△は、手や肘で圧力をかけて太鼓のテンションを変えてください。High～Lowまで、太鼓の音程を引き出せると最高です。テンポの速い箇所においては、リズムの面白さを活かした演奏を心がけてください。またそれに伴い、セッティングや、フットワークなどもポイントになりますので、色々試してみると良いでしょう。

後半は、ダブルストロークで聞かせる箇所が多くでてきますので、腕が力まないよう、手首のコントロールをしっかりとしましょう。

方向性のはっきりとした演奏を望みます。素敵なパフォーマンスになりますように！

(片岡寛晶)

## INSTRUMENTATION



※バスドラムを使わない場合は、トムを4つ、又はロートトム4つで演奏をしてもよい  
※※木の実や連なった木の板、ペットボトルのキャップなど任意の音で演奏する

### 【片岡寛晶プロフィール】

東京音楽大学卒業。打楽器奏者としての傍ら、作曲を行っており、プロの演奏団体や音楽隊、教育現場などで作品が取り上げられる。また、シカゴで開催されたミッドウエストクリニックや WASBE(世界吹奏楽協会)など海外の舞台においても演奏をされている。

作曲を坪能克裕、藤原豊、打楽器を菅原淳、岡田真理子、安倍圭子の各氏に師事。2007年・全日本吹奏楽コンクール・朝日作曲賞入選。主な作品として(鳥之石楠船神・オリエントの光芒・マカームダンス・天空の騎士)などがある。2015年・片岡寛晶作品集 CD【天馬の道】が、海上自衛隊横須賀音楽隊の手により録音され、ブレーン社より発売。近年では学校の校歌や市歌などの作曲の他、プライダル音楽のプロデュースや教育書の編曲なども手掛ける。現在、東京成徳大学講師。

